

Aiming for "Gold"

「金賞」に向かって

桂中吹奏楽部が最大の目標と定める吹奏楽コンクール。

金賞を目指し、「桂中吹奏楽部の演奏」を作り上げるための道のりは、長く険しいものであった。

【桂中吹奏楽部のコンクールでの演奏曲】

▼課題曲

コンサートマーチ「青葉の街で」／小林武夫

▼自由曲

交響曲第1番「神曲」より第一楽章「地獄篇」

／R.W. スミス

学校の体育祭も終わった5月下旬。桂中吹奏楽部は、最大の目標である吹奏楽コンクールに向けて本格的に始動する。

今年の吹奏楽コンクール福岡県大会筑豊支部予選は7月27日、飯塚市のイヅカコスモスコモンで開催される。目標は「金賞」だ。

ここ数年の成績はすべて銀賞。金賞にはあと一歩届かないという善戦が続いている。金賞を獲得したのは平成12年が最後で、県大会への出場に至っては昭和43年までさかのぼる。

今年の金賞の可能性について、藤井先生は「まだまだです」と渋い表情。「曲の演奏はできています。しかし、まだ目の前の楽譜どおりに演奏しているだけの状態。周りの楽器と音が合っていない部分が多く、桂中吹奏楽部の演奏としては未完成です。ただ、伸び代も多く残っています。コンクールまでどこまで伸びるか、楽しみですね」

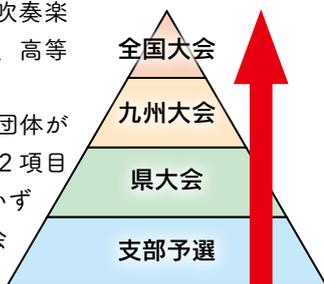
遠ざかっている金賞というタイトル。受賞するために必要な「桂中吹奏楽部の演奏」を作り上げるために、夏に向け、これまで以上の練習の日々が始まる。

金賞受賞の鍵を握る
「桂中吹奏楽部の演奏」

【全日本吹奏楽コンクール】

全日本吹奏楽コンクールは、社団法人全日本吹奏楽連盟と朝日新聞社が主催し、毎年開催されるアマチュア吹奏楽団体を対象とした音楽コンクール。小学校、中学校、高等学校、大学、職場・一般の5部門に分かれる。

コンクールでは、12分間という時間制限の中、各団体が課題曲と自由曲の2曲を演奏し、技術面と表現面の2項目で有識者が審査。得点に応じて金賞、銀賞、銅賞のいずれかの賞が与えられ、さらにこのうち数組が上位大会へと推薦される。



コンクール練習用の楽譜には、演奏の注意点などの書き込みがビッシリ。